

基本設計・実施設計業務委託プロポーザル最優秀提案書（概要版）

基本理念：『町民に寄り添う便利でアットホームな庁舎』を実現する

七戸町の地域・人・歴史をつむぐ「みんなの庁舎」をつくります

八甲田の山並みに見守られ、縄文のいにしえから、固有の文化とともに歩んできた七戸町。計画地は七戸町の中心に位置し、新幹線駅周辺の公共施設と連携して、町民の暮らしを支えるあたたかい「都市拠点」としての整備が求められています。

七戸町の歴史、地域、人を丁寧につむぎ、全ての町民の安心の拠り所となり、親しまれる「みんなの庁舎」を提案します。



基本理念・基本方針



基本理念・基本方針に基づく4つの視点

- 1 ユニバーサルデザインの視点
すべての人にひらかれた庁舎
- 2 柔軟性の高い利用と災害活動を想定した防災の視点
まちに安心を与える庁舎
- 3 将来対応・自治体DX化への視点
将来の変化に備える庁舎
- 4 脱炭素社会へ向けた環境対応の視点
まちの環境をリードする庁舎

新庁舎が魅力的なまちづくりの中核となる

- 1, 2つの地域をつなぐ「連携軸の強化」
- 2, 上十三と下北、津軽をつなぐ「交通の要衝」
- 3, 広域交通軸をつなぐ「観光とビジネスの玄関口」



設計上で特に配慮する事項

新しい庁舎像を生み出す場作り町民と一緒に作り上げる「七戸町ミーティング（ワークショップ）」

- ・町の未来の価値を生み出す場が新しい庁舎像と考え、七戸町の関係団体や学識経験者に加え、町民参加を主とした「七戸町ミーティング」を提案します。



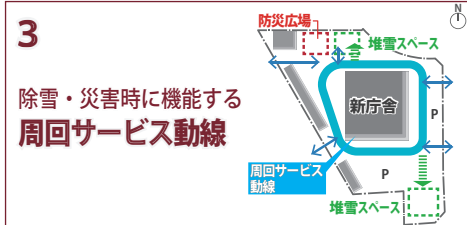
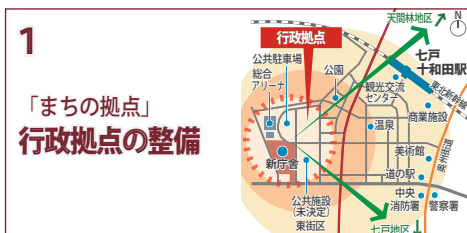
七戸町ミーティング（案）

- 第1回 みんなで敷地をみてみよう！
- 第2回 庁舎でどんなことをしたいか考えよう！
- 第3回 模型を見てどんな建物になるか考えよう！



1【課題1】配置・外構・動線計画 町全体・周辺街区の将来を見据えた まちづくりの拠点となる庁舎

施設連携を強化し、新しい公共施設集積ゾーンを創造する『3つの手法』



【通用口】

- ・防災広場に直接アクセス可能で、災害時迅速な対応が可能

【書庫】

- ・入室管理等セキュリティに配慮

【マルチ会議室】

- ・1階からリビングに面して配置し、会議以外の多目的な町民利用に配慮
- ・可動間仕切りを設置し稼働率を向上

【キッズコーナー・テラス】

- ・カウンターから目の行き届くエリア
- ・授乳室を近接設置

【議場】

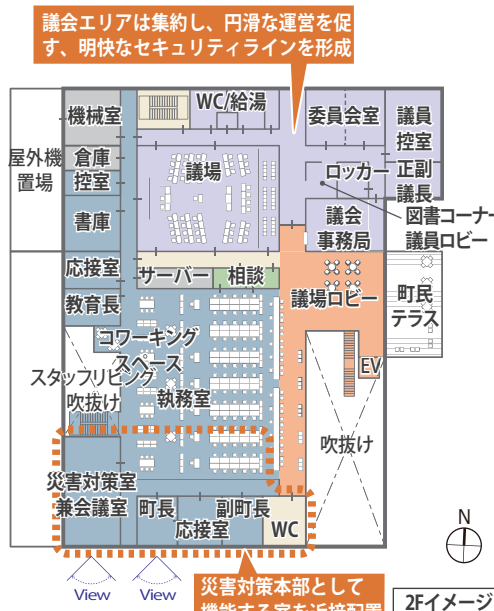
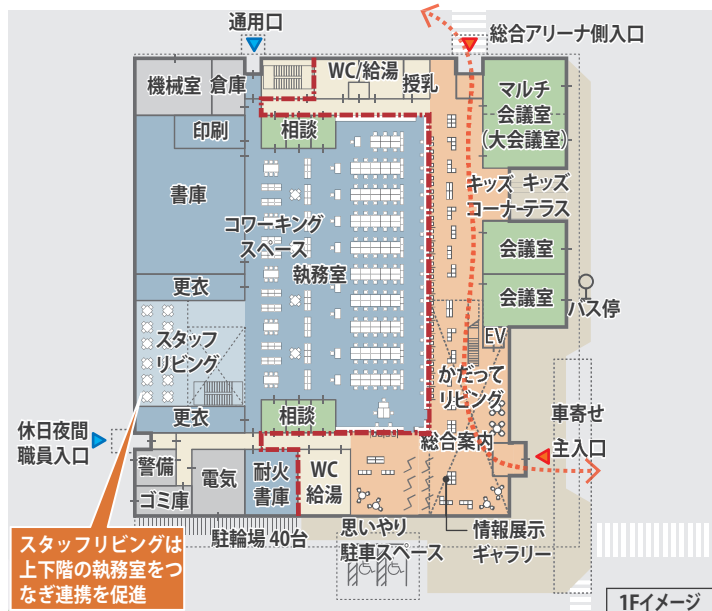
- ・フラットな床と可動家具で多目的な利用を提案（※基本設計検討）

【議会エリア】

- ・北東に集約し、独立性を確保
- ・傍聴席へのアクセスや市民開放に配慮

【議会事務局】

- ・議会への入退出者の管理が可能



【職員入口】

- ・公用車庫に近接させ利便性に配慮

【相談室】

- ・プライバシーに配慮した位置とし、2方向からの出入口を設置

【執務室】

- ・見通しが良く、新しい働き方を可能とする執務室環境
- ・かだてリビング・議場ロビー・スタッフリビングと広く面し自然採光・自然通風を確保

--- セキュリティライン ---

【町長室・副町長室】

- ・南面に配置し災害時に災害活動広場の様子が確認できる

【教育長室】

- ・学務課に近接配置し利便性に配慮

【災害対策室兼会議室】

- ・災害時、災害活動広場の様子が確認可能
- ・階段に隣接し、普段の利便性と災害時の機動性を確保

